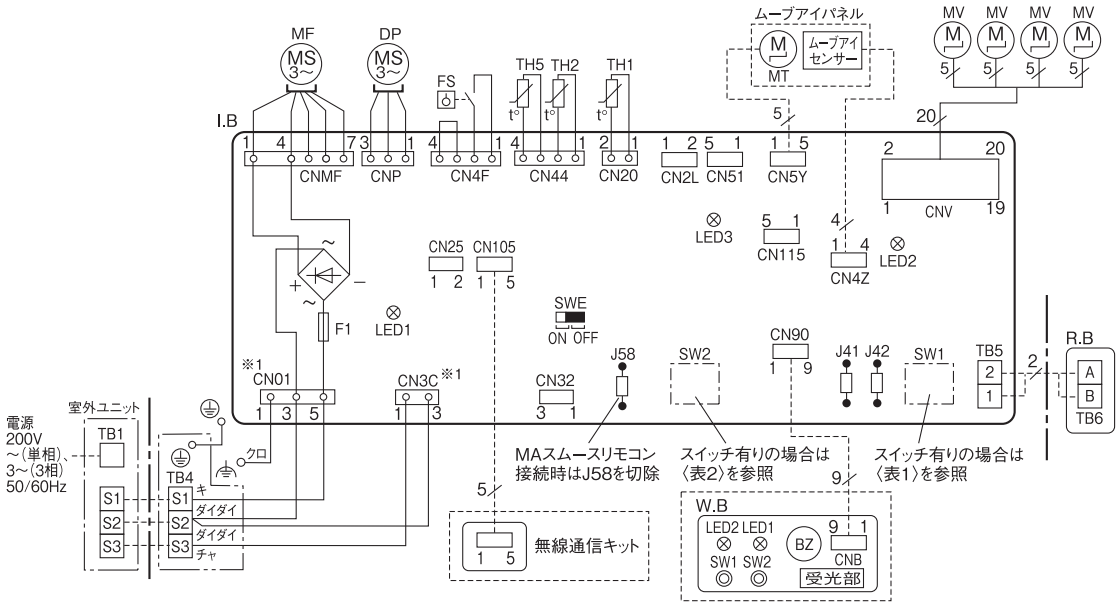
PL-RP28,40,45,50,56,63,71,80GA8 電気配線図



【記号説明】

記号	名称	記号	名称
I.B	室内制御基板	TB2	端子台(室内:電源(別売))
F1	ヒューズ(T6.3AL250V)	TB4	端子台(室内:内外接続線)
CN25	コネクター(別売:加湿器)	TB5,TB6	端子台(リモコン伝送線)
CN2L	コネクター(別売:ロスナイ、遠方表示キット)	TH1	サーミスター(室内吸込温度検知) 0℃／15kΩ、25℃／5.4kΩ
CN32	コネクター(別売:遠方発停アダプター)		
CN51	コネクター(集中管理／JEMA標準HA端子-A)	TH2	サーミスター(室内配管(液管)温度検知) 0℃／15kΩ、25℃／5.4kΩ
CN105	コネクター		
CN115	コネクター	TH5	サーミスター(室内配管(二相管)温度検知) 0℃／15kΩ、25℃／5.4kΩ
LED1	発光ダイオード(マイコン電源)		
LED2	発光ダイオード(リモコン給電)	FS	ドレンフロートスイッチ
LED3	発光ダイオード(室内外通信)	別売部品 MT	ムーブアイ用モーター
SW1	スイッチ(機種設定〈表1〉参照)	別売部品 R.B	ワイヤードリモコン
SW2	スイッチ(能力設定〈表2〉参照)	別売部品 W.B	ワイヤレスリモコン受光基板
SWE	コネクター(通常／応急運転切換)	別売部品 BZ	ブザー
MF	送風機用モーター	別売部品 LED1	発光ダイオード(運転表示:ミドリ)
MV	ベーン用モーター	別売部品 LED2	発光ダイオード(暖房準備中表示:オレンジ)
DP	ドレンアップメカ	別売部品 SW1	応急運転(暖房)
TB1	端子台(室外:電源及び内外接続線)	別売部品 SW2	応急運転(冷房)

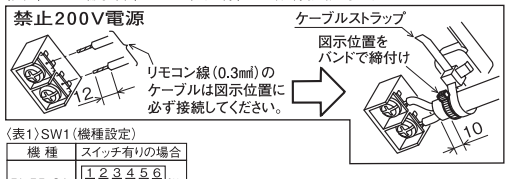
【注意】

1. □□は端子台、□は、□□□はコネクターを示します。
2. 内外接続線は極性がありますので番号(S1、S2、S3)に従い配線してください。
3. TB4(端子台)にはAC200Vが印加されますのでご注意ください。
4. TB5(端子台)へ動力線は絶対に接続しないでください。その他の注意事項は、図1を参照してください。
5. 室外ユニットのサービスの際は、室外ユニットの電気配線図を参照してください。

※1:本図は、内外接続線(AC200V仕様)が電源と信号の重量方式の配線図を示します。
内外別受電方式の工事をした場合は、図2になります。
本機の電源方式については、電気配線工事の際に貼り付ける注意ラベル(付属品同梱)を参照してください。

6. 本配線図の■はスイッチの位置を示します。
7. JEMA標準HA端子を使用する場合は、CN51に別売HA端子接続用ケーブル(PAC-SK31HN)を接続して使用してください。

〈図1〉TB5:端子台(リモコン伝送線)への配線接続時の注意



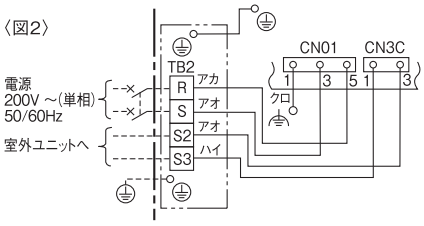
〈表1〉SW1(機種設定)

機種	スイッチ有りの場合
PL-RP.GA	1 2 3 4 5 6 ON OFF

〈表2〉SW2(能力設定)

形名能力	スイッチ有りの場合	形名能力	スイッチ有りの場合	形名能力	スイッチ有りの場合	形名能力	スイッチ有りの場合
28形	1 2 3 4 5 ON OFF	40形	1 2 3 4 5 ON OFF	45形	1 2 3 4 5 ON OFF	50形	1 2 3 4 5 ON OFF
56形	1 2 3 4 5 ON OFF	63形	1 2 3 4 5 ON OFF	71形	1 2 3 4 5 ON OFF	80形	1 2 3 4 5 ON OFF

〈図2〉



【応急運転】

1. ワイヤードリモコンが故障したとき、他に不具合箇所がなければ室内制御基板の応急切換コネクター(SWE)をONに設定すると、室内ユニットの応急運転となります。
   応急運転中の室内ユニットは以下の運転状態となります。
   (1)室内ファン強風運転　(2)ドレンアップメカ運転
   ※なお、ワイヤレスリモコンの場合、リモコンが使えなくなったときは、室内ユニットのワイヤレス受光部スイッチを長押し(2秒以上)することで、冷房/暖房運転が可能です。
2. 冷房または暖房の応急運転を行う場合、室内制御基板上のコネクター(SWE)設定と室外ユニットの応急運転が必要です。室外ユニットの応急運転方法については室外ユニットの電気配線図を参照してください。
3. 応急運転を行うときの確認項目と注意事項
   (1)以下の場合、応急運転はできません。
   ・室外ユニットに異常がある場合
   ・室内送風機に異常がある場合
   ・自己診断でドレンオーバーフロー保護作動を検知したとき
   (2)応急運転は電源発停による連続運転となります。リモコンでのON/OFFまたは温調等は作動しません。
   (3)暖房応急運転中に室外ユニットが霜取運転を開始すると冷風を吹出しますので長時間の運転はしないでください。
   (4)冷房応急運転は最長10時間以内としてください。室内ユニットの熱交換器が凍結するおそれがあります。
   (5)応急運転終了後はコネクター設定等を元の状態に戻してください。
   (6)応急運転時はベーン動作しないため手動でゆっくり適切な位置に設定してください。

【自己診断】

リモコンによる自己診断方法については技術資料等を参照してください。
点検コードと不具合内容は下表をご覧ください。

点検コード	不具合内容	点検コード	不具合内容
P1	吸込センサー異常	PB(Pb)	室内ファンモーター異常
P2	配管(液管)センサー異常	PL	冷媒回路異常
P4	ドレンフロートスイッチコネクター(CN4F)外れ	E0～E5	リモコン一室内ユニット間の通信異常
P5	ドレンオーバーフロー保護作動	E6～EF	室内ユニット一室外ユニット間の通信異常
P6	凍結／過昇保護作動	FB(Fb)	室内制御基板異常
P8	配管温度異常	U※、F※(※は英数字) FB除く	室外ユニットの不具合
P9	配管 (二相管) センサー異常		室外ユニットの電気配線図を参照してください
PA	漏水異常 (冷媒系)		

図番	PLRP28GA8-DE	副番	